



新年度、はじまる。

湘光中学校新1年生



大井町 議会だより

第1回定例会 P 2
 令和7年度の予算案を可決
 一般質問 ここが聞きたい P12
 6人が町政を問う！
 議会活動報告..... P15
 足柄上郡町村議会議長会議員研修会ほか

町のこの人あの人..... P16

町のイベントでも大活躍
 シャボン玉パフォーマー現る
 根岸下地区

こじま りょういち
 小島 亮一さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

令和7年度当初予算

一般会計	71億6,000万円
国民健康保険特別会計	16億2,000万円
後期高齢者医療特別会計	3億4,200万円
介護保険特別会計	14億6,200万円
水道事業会計	4億9,500万円
公共下水道事業会計	6億7,000万円
合計	117億4,900万円

会 議 内 容	一 般 質 問	条 例	補 正 予 算	人 事	当 初 予 算
6 人	18 件	5 件	1 件	6 件	ほ か

第1回定例会
3月4日～17日

トピック

- 議会映像配信の実施
- 相和地域巡回タクシー運行
- 産婦健康診査の助成を拡充
- 総合体育館第1期改修工事

- 令和7年度第1回定例会の初日は、町長から施政方針が示され、
- つなごう！大井未来計画の着実な推進
- 「今後の発展を見据えた」施策・事業の展開
- デジタルトランスフォーメーションの推進
- 物価高騰への対応
- 財政の安定

の5つの視点に重点を置いた予算編成の考え方と事業の概要が述べられました。

提案された一般会計をはじめとする6会計の当初予算案は、10日に本会議での質疑を行い、11日・13日の2日間で「予算審査特別委員会」を設置し、さらに詳細な審査を行いました。

最終日の17日には、それら全ての会計の採決や選挙などを行い閉会しました。

また、本定例会では、当初予算案をはじめ条例、補正予算、人事など合計40件という多くの議案等が提出され、慎重なる審議の結果、同意又は可決しました。

令和7年度予算を可決

2年連続で過去最大

前年度比9.6%増

予算審査ダイジェスト

施政方針

問 予算編成における5つの視点の中で、「今後の発展を見据えた」施策・事業の展開とはどのような姿をイメージしているのか。

答 町民一人ひとりが輝いて思いをつなぐこ

とができるような施策であり、そのキーワードは協働のまちづくりである。

問 物価高騰の対応については、どのように考えるか。

答 給食費補助、扶助費、工事費、人件費等

を視野に入れ全体的に意識をしっかりと持って、対応をしていく。

問 デジタルトランスフォーメーションの推進にあたり、担当課を立ち上げる考えは。

答 現状は新しい担当課を新設するつもりはない。

問 令和7年度におけ

る最も重要な視点は。

答 すべての施策が重要であるが、町民生活に寄り添ったことをしっかりと取り組んでいく。

問 「将来にわたる公共施設等の老朽化に伴う大規模改修や、施設のあり方の見直しが見込まれる」という点についての解釈は。

答 社会情勢も変化しており、町にとって何が最適であるか、将来を見据えて計画の見直しも必要ということ。

問 介護保険における自立支援・重度化防止の基本的な考えは。

答 介護予防はますます重要となるため、予防事業を積極的に取り組んでいく。



大規模改修が行われる総合体育館

一般会計

組織管理

問 選挙の投票管理者において、高齢者への負担軽減や若年層の登用が必要では。

答 現状では投票管理者の確保はできているが、他自治体を参考に今後検討する。

問 公用車の更新に関し、環境負荷の少ない車両は検討したか。

答 検討はしたが、対象車両がなかった。将来的には環境配慮型の車両も検討していく。

問 職員のメンタルヘルス対策における職場復帰支援の詳細は。

答 職員の健康管理として産業医の活用やリハビリ勤務制度を導入している。

行政運営

問 巡回バスの運行を変更するが、その概要は。

答 既存のバス運行を一部タクシーに変更し利便性を向上させる。

問 変更の理由は。

答 タクシーを活用することで、集落内への停留所の設置や移動時間の短縮を図るため。

問 DX推進のための

外部人材活用の内容は。

答 県のシェアリング事業を活用し、業務効率化を図る。

問 業務範囲は庁舎内に限られるのか。

答 幼稚園、保育園等を含めた相談体制を講じる。

問 空き家活用の具体策は。

答 空き家の片付け等に補助金を支給し、利活用を促進する。なお、

空き家バンクへの登録を補助金交付の条件とする。

問 財政調整基金積立金利子の増額要因は。

答 定期預金の利率が上がっていることや令和6年度に購入した有価証券が高利率であるため。

問 令和7年度法人税均等割における法人数の見込みは。

答 実状を踏まえて、新規設立等が15社、廃業と町外移転等が28社で、予算上は、差引の13社減少とした。

問 臨時財政対策債が廃止となったが、財政上の影響は。

健康・福祉

問 足柄上地区休日急患診療所運営費負担金の大幅な増額要因は。

答 施設の老朽化により屋根の改修が必要となったためである。

問 新たに実施する保育士宿舍借上げ支援事業の内容とその目的は。

答 事業者が保育士のためにアパート等を借

り上げる場合の費用を補填するもので、その4分の3を補助する。このような制度を推進することにより保育士確保を支援する。

問 新規導入された後期高齢者向け人間ドック助成の内容は。

答 高齢者健康診査を受診せずに人間ドックを受診した方に対して、一人2万円を助成。女

性向けオプション検診（乳がん等）には追加で5000円助成する。

問 障害者向けタクシー助成の現状と改善は。

答 利用者数は増加している。今後、利用者からの声を伺いながら運用していく。

問 おおい児童コミュニティクラブ建設準備

における方針は。

答 大井小学校の敷地内建設も踏まえ、様々な方向性を見比べたうえで考えていく。

社会基盤・安全対策

問 建築物耐震化促進事業費の拡充内容は。

答 耐震診断は10万円を上限に全額、耐震改修は半額を上限に100万円まで、非課税世

帯の優遇措置として150万円を上限に工事費の4分の3を補助する。

問 耐震改修への補助を非課税世帯だけでなく、要配慮世帯にも広げていく考えは。

答 状況を見て判断する。

問 道水路改良事業費について、町道1号線市場踏切東側での改良

工事のための費用が計上されているが。

答 歩行者の安全対策とJＲの用地を町が活用できるかを検証するため、測量を行う。

問 新たに防災備蓄品として購入する口腔ケア用歯ブラシの詳細は。

答 80歳以上の高齢者の健康状態を維持するために、3日分で5200本を備蓄する。

戸籍・協働

問 町民課の窓口に通訳機を配置する理由は。

答 近年、外国人居住者で、特に中国人やベトナム人、韓国人が多く、窓口対応の円滑化のため。

問 コンビニ交付試験手数料とは。

答 マイナンバーカードを使って、コンビニ

で住民票や印鑑証明を取得できるシステムの試験費用である。

問 自治会集会施設等整備費補助金の利用状況は。

答 老朽化した施設の改修に充てられるが、認知度が低く利用が少ない。自治会長会議等で制度の周知を図る。

問 広報紙の配布方法

生活・経済

問 補助事業のうち、町商工振興会青年部が実施するラーメン店スタンプラリーに期待する効果は。

を変更する考えは。

答 現状、自治会を通じて配布しているが、負担軽減のため、15日号の試験的再編を検討している。

問 農産担い手等総合支援補助金のうち、農地の貸借を促進する農地流動化促進事業は、農地所有者にも適応されるのか。

答 農地を貸す側、借りる側両方を補助対象とする。

問 ジビエメニュー開発補助金の内訳は。

答 上限10万円で、3店舗分を見込む。

問 スマートエネルギー設備導入費補助金は、その利用促進が重要と考えるが。

答 広報紙やホームページ、団体等を通じて周知を図る。

問 有価物等収集委託



教育・文化

問 改修工事中に総合体育館を使用できない期間は。

答 2階が今年の11月から令和9年の3月まで使用できない。また1階の多目的室と柔剣道場は、令和8年1月から3月まで使用できないが、状況により部分開放する。

問 総合体育館の改修工事におけるアスベス

ト除去工事の安全性は。作業の状況によつて、計画の一部変更を行うことや総合体育館を利用できない期間を設けることで対応する。

問 改修工事により、長期にわたって耐久性は維持されるのか。

答 現時点で懸念される問題は全て改修し、引き続き安全に利用できるようにする。

問 2歳6か月の子ど

もに配付するセカンドブックの選定方法は。

答 図書館流通センターの推奨する絵本から職員が5冊を選び、そのうち1冊を配付する。

問 学校給食費を完全無償化とせず、2分の1補助を継続した理由は。

答 国の動向を注視しつつ、財政状況を考慮したなかで判断した。

水道事業

問 漏水調査の実施状況と調査後の対応は。

答 町内を5か所に分けて、順次実施している。今後とも早急に対応を図っていく。

問 P F A Sを検査する場所は定期的に変更するのか。

答 特段変更しない。

公共下水道事業

問 流域下水道建設費負担金の増額要因は。

答 主に、終末処理で発生する汚泥の再利用に係る調査費用を見込んでいるためである。

問 内水浸水想定区域図作成業務委託料の内容容は。

答 町内の水路が、どの位の水深でどの位氾濫するのかをシミュ

レーションする。1時間の雨量153ミリで想定する。

問 作成後の検証や住民に対しての公開は。

答 情報開示を行う。必要に応じて、現地に外向いて検証を行う。



特別会計・企業会計

国民健康保険

問 最近の推移から判断すれば、被保険者数が更に下がると予測されるか。

答 過去の平均を勘案した数字を計上している。

問 全国的に社会保険へ移行する方が多いが、

本町の傾向は。

答 同じ動きが本町でも拡大していくと考えている。

問 保険税の増加に反して、繰入金が前年度より減少しているか。

答 基金からの繰入を行わないためである。

なお、交付金にも影響することから、保険税を下げるための法定外繰入は行っていない。

後期高齢者医療保険

問 前年度と比べ、普通徴収の割合が増加しているか。

答 年金から天引きできない方や新規加入者が多くなると想定している。

問 団塊の世代が後期高齢者となることで、医療費の増大が見込まれるが今後の対応は。

答 保険料に波及するものであり、適正な収納対策に取り組む。

介護保険

問 一人暮らし高齢者等配食サービス委託料は単価649円に値上げされているが、自己負担は。

答 昨年と変わらず、430円となる。

問 足柄上地区介護認定審査会負担金の増額要因は。

答 DX推進のためのタブレット端末の購入や標準化のためのシステム改修が主な要因である。

問 認定者数の見込みは。

答 介護度の高い方が増加すると想定した。

問 保険料の増額は、多段階化の影響か。

答 多段階化は、費用負担の公平性が目的であり、保険料の増額には影響していない。

問 業務負担は軽減されるか。

答 審査業務の効率化が期待される。

予算審査特別委員会による審査



令和7年度予算審査に際しては、本会議の審査審議において、議長発議により特別委員会が設置されました。企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人による委員会が組織され、3月11日・13日の2日間にわたり詳細な審査を行いました。また、今回の審査においては、昨年に続き、付託された全会計を一括し、施策を「組織管理」「行政運営」「戸籍・協働」「健康・福祉」「生活・経済」「社会基盤・安全対策」「教育・文化」の7部門に分けて審査を行いました。

委員長 岡田 幸二
副委員長 山崎 真弘
委員 牧野 一仁
委員 鈴木 磯美

委員 重田 有紀
委員 黒岩 陣太郎
委員 大石 舞
委員 笠井 裕太



総合体育館は、今回の改修工事により、長期にわたって耐久性は維持されるのか。

現時点で懸念される問題は全て改修し、引き続き安全に利用できるようにする。



学校給食費を完全無償化とせず、2分の1補助を継続した理由は。

国の動向を注視しつつ、財政状況を考慮したなかで判断した。

審査結果

委員会での審査の結果、令和7年度一般会計予算をはじめとする6会計のすべてについて、原案のとおり可決すべきものとなりました。

議員討論

令和7年度一般会計予算、大井町国民健康保険特別会計予算、大井町後期高齢者医療特別会計予算、大井町介護保険特別会計予算については、それぞれ本会議で討論が行われました。ここでは、一般会計予算における大石舞議員の反対討論、和田紀昭議員の賛成討論を掲載します。

反対討論

大石 舞

住民のための施策充実に

地方自治体の最も大切な役割は「住民福祉の増進」であるが、今予算はその点において十分だろうか。

物価高騰対策は今予算の重点項目のひとつだが、なぜ給食費の無償化に踏み切れないのか。水道料金の減免も必要である。障がい者福祉分野においても、タクシー利用助成を未だ拡充していない。町職員の労働環境は、正規職員が減少傾向である一方、非正規職員数は増加傾向であり改善が求められる。福祉や生活支援では、老人福祉費について今予算でも大きな改善は見られない。また相和巡回タクシーの用途はゆめバスへの乗り換えに限られており、利便性の向上に結びつくのか疑問である。教育分野においては、就学援助制度の改善が見られない。環境分野においては、今年度の施策がカーボンニュートラルの早期達成にどの程度寄与するのか、不透明な状況である。以上今予算においては、住民福祉の増進について不十分であると判断し、反対討論とする。

賛成討論

和田 紀昭

地域の持続可能な発展を期待する

本予算案は、町民の生活向上と持続可能な地域社会の発展を目指し、バランスよく編成されている。

まず、「活力ある地域社会」の実現に向け、町民・議会・行政が一体となって協働する姿勢が示されている。また、安全で快適な生活環境の整備にも重点が置かれ、生活の安全性と利便性を高める施策が多く含まれている。

福祉分野においても、高齢者や障がい者を支える施策が充実している。高齢者独居世帯の見守り機器導入費の助成、福祉課窓口への手話通訳者の配置など、誰もが安心して生活できる環境づくりが進められている。さらに、新たに75歳以上の人間ドック費用助成が追加されたことは、健康寿命の延伸や疾病の早期発見・予防の観点から極めて重要な施策である。

町民の暮らしを守り、地域の持続可能な発展を期待し、賛成討論とする。



令和7年1月28日（火）、神奈川県大井町自治会館にて神奈川県大井町議会議員・事務局長合同研修会が開催されました。その内容は、株式会社廣瀬行政研究所 代表取締役廣瀬和彦氏による「町村議会における議員定数・議員報酬について」をテーマとした講義でした。

議長・副議長・事務局長合同研修会に参加

議員報酬を10%程度増額

	改定前	改定後
議長	364,000円	390,000円
副議長	281,000円	307,000円
委員長	262,000円	289,000円
議員	257,000円	283,000円

大井町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

可決

議員報酬のあり方については、近年、全国的にその検討が進められているところで、定数割れや無投票となった本町議会においても、その要因のひとつとして検討すべき課題となっており、議会運営委員会においては、これまでも、度重なる検討を進めてきました。そのような中、折しも、昨年12月に特別職報酬等審議会が開かれ、その答申の内容が町長から示されました。その内容は、社会経済情勢の変化や民間の給与実態を踏まえ、また、地方議員のなり手不足問題の解消として、現行額の10%を基本に増額するというものでした。

議員報酬の改正に際しては、大井町議会基本条例に基づき、議会としての責務を有することから、議会運営委員会において、過去の検討内容を参考に再度協議を行いました。その結果、今回の報酬等審議会の答申を尊重すべきとし、一部改正条例が提案され、本定例会で可決されました。

将来の町の発展を見据えた結果であり、我々議員には、より一層、身を引き締めて職務に取り組むことが求められます。

条 例

大井町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

(賛成11反対1)

*大井町特別職報酬等審議会の答申を考慮し、大井町議会基本条例に基づき、議会議員の報酬を改定するもの

大井町表彰条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*社会情勢を勘案し、常勤の特別職である教育長を功労表彰の対象者に加える等の見直しをするため、所要の改正をするもの

問 教育長が特別職となった時点で改正すべきではなかったか。

答 経緯は不明だが、そうあるべきだったのではと考える。

ではと考える。

大井町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*令和6年度人事院勧告に基づく国家公務員の給与と制度のアップデイトを受け、一般職の職員と併せ、所要の改正を行うもの

大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*令和6年度人事院勧告に基づく国家公務員の給与と制度のアップデイトを受け、地域手当の支給率を引き上げる等、所要の改正を行うもの

問 今回の改定によりどのような効果が得られると考えるか。

答 他自治体への人材

の流出防止に寄与すると考える。

問 アップデイトによる人件費への影響は。

答 年間で約5400万円増である。

大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

*児童福祉法に基づき厚生労働省令で定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正を行うもの

問 人員設置の基準が「おおむね」というあいまいな表現となっている理由は。

答 家庭的保育事業として小規模な施設を想定しており、保育の運営を明確な人数で区分することはふさわしくないと考えられるため。

第1回定例会

大井町土地の埋め立て等の規制に関する条例を廃止する条例
(賛成全員)

*宅地造成等規制法の改正に伴い、本条例による規制の対象であった埋め立て等の行為について、同法による規制の対象となることから、廃止をするもの

補正予算

一般会計(第11号)
(賛成全員)

*歳入歳出ともに年度末における事業費の確定及び確定見込みによる執行残等の計上によるもの

問 学校給食費無償化事業費補助金の補正額の根拠は。

答 米や食材の値上げによる不足分である。

問 保育所入所児童委託事業費が増額の理由は。

答 管外の保育所の入所が増えていたため。

問 保育対策総合支援事業費補助金とは。

答 栄光愛児園のおむつダストボックスへの補助である。

問 事業者にとって、処分費用が負担とならないか。

答 町での負担は考えていないが、今後の検討課題と考えている。

問 ふるさと納税の減額の理由は。

答 今年度は義援的心情で能登への納税が多くなっている。今後項目数や魅力ある返礼品を考える。

問 移住定住促進事業費の減額理由は。

答 年間で何度か補正対応したが見込みが甘



おおい児童コミュニティクラブ

かった。

問 給食センター修繕費の内容は。

答 食器自動給配装置のユニット交換や破砕機のバルブの交換である。

問 物価高騰対策支援事業費の執行残の理由は。

答 国からの給付金で他への活用ができないため。

問 児童コミュニティクラブ運営費の通信回線使用料とシステム使用料が残った理由は。

答 おおい児童コミュニティクラブの受け入れ人数が超過したことへの対応に追われ、4月からの利用ができなかったため。

問 自治会運営費等補助金の減額理由は。

答 当初見込んでいた世帯数が減ったため。

国民健康保険特別会計(第3号)
(賛成全員)

*歳入については繰入金金の確定、歳出については保険給付費の実績に基づくもの

問 一般被保険者療養給付費が増額した理由は。

答 特定健診の受診率が上がり、その後通院機会が増えたため。

問 保険料に影響はあるか。

答 若干負担は増える。

人事

大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること
(賛成全員)

*任期満了により再度選任したく議会の同意を求めるもの

瀬戸 浩一 氏
(再任 上山田)

選挙

大井町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
(賛成全員)

*任期満了により後任を選出するもの
(委員)

柳川 幸治(高尾)

(補充員)

根岸 正典(上大井)

山本 孝夫(金手)

間壁 誠(宮地)

古谷 文好(下山田)

鈴木 幸康(西大井)

間宮 正守(吉原)

杉崎 純(根岸下)



学校給食センター

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順） と審議結果	笠井 裕太	諸星 光浩	鈴木 武夫	大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	牧野 一仁	清水 亜樹	審議 結果
第1回定例会	5	大井町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	6	大井町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	7	大井町表彰条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	8	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9	大井町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	10	大井町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	11	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12	大井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13	大井町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14	大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15	大井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16	大井町地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	17	大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18	大井町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19	大井町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20	大井町下水道条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21	大井町土地の埋立て等の規制に関する条例を廃止する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	22	大井町道の路線の廃止及び認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	23	令和6年度大井町一般会計補正予算（第11号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	24	令和6年度大井町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	25	令和6年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	26	令和6年度大井町介護保険特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	27	令和6年度大井町公共下水道事業会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	28	大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	29	令和7年度大井町一般会計予算		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	30	令和7年度大井町国民健康保険特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	31	令和7年度大井町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	32	令和7年度大井町介護保険特別会計予算		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	令和7年度大井町水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	令和7年度大井町公共下水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	大井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

第1回臨時会

第1回臨時会

1月18日

会議内容

補正予算 2件
人事 1件
契約変更 1件

補正予算

一般会計(第10号)

(賛成全員)

*物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業及び第1分団待機宿舍建設工事に係る経費を計上するもの

問 消防施設施設整備事業費において契約変更の金額と補正予算の金額が相違の理由は。
答 執行残があるため相違が発生した。

問 地中からコンクリートが出てきた原因は。
答 経緯は不明であるが、前の建物の基礎部分と考えられる。

問 物価高騰対応重点支援事業において町独自の施策は。
答 国の指示のもと決定している。推進メニューには入っているが今回は町民税非課税世帯のみの支援策で計上している。

問 今後、実態調査等を踏まえた施策が必要では。
答 既存事業を含め、現在住民に何が求められているかを検討した中で対応していく。

水道事業会計(第2号)

(賛成全員)

*馬場配水池送水ポンプ故障に伴う更新工事等の経費を計上するもの

問 資金調達を企業債にした理由は。
答 基本的に工事の資金は起債して行うのが原則となっている。

問 新しいポンプの減価償却の年数は。
答 20年を予定している。

問 今後、故障中のポンプの修繕は、再度予算の補正が必要か。
答 既存の修繕費で対応する予定。



建設中の第1分団待機宿舍

問 ポンプ更新の工期は。
答 工事の完了は8月を予定している。

人事

大井町固定資産評価員の選任について同意を求めること(賛成全員)

*大井町固定資産評価員の井上伸治氏から辞職の申し出を受理したので、その後任を選任するもの

田村 俊二 氏
(新任 西大井)

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対員
伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

臨時会の別	議案番号	議案名	議員名(議席順)と審議結果	笠井 裕太	諸星 光浩	鈴木 武夫	大石 舞	黒岩陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	牧野 一仁	清水 亜樹	審議結果
第1回臨時会	1	令和6年度大井町一般会計補正予算(第10号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	2	令和6年度大井町水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	3	大井町固定資産評価員の選任について同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	4	工事請負契約の締結について(第1分団待機宿舍建設工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



笠井 裕太 議員

Q 創業支援策を強化する
考えは

A 町、足柄上商工会、地元金融
機関と相互に検討していく



岡田 幸二 議員

Q 公約である多世代
交流施設の検討状況は

A 進めたい思いは変わらないが、
実現までの課題整理を
進めている段階

問 空き店舗対策補助金制度の期間と金額を引き上げる考えは。

課長 まずは利用実績を上げたい。

問 他自治体が行っているような、空き店舗に入居した事業者に改修費を支援する考えは。

課長 ニーズを把握した中で今後も検討・研究し、調整していきたい。

問 中小企業小口資金融資制度について、運転資金・設備資金の融資金額の引き上げと貸出金利を引き下げる考えは。

課長 近隣市町との開きがあることは承知しているので、今後の調

整を検討していく。

Rを行うとともに、農業参入を目指す企業への営業活動を進めている。

問 町としてインキュベーション施設を設置する考えは。

問 有意義だが、財政的な負担や費用対効果を考えると、神奈川県との施策と連携することが効果的である。

【新規就農者獲得のための取組みは】

課長 効果的であり、検討する必要があると思う。

問 耕作放棄地の解消に向け、新たな農業の担い手の確保のための支援は。

町長 かながわ農業アカデミー就学支援制度、農業次世代人材投資資金の助成、新規就農者と農地をつなぐ相談業務を行い、それらのP

町長 かながわ農業アカデミー就学支援制度、農業次世代人材投資資金の助成、新規就農者と農地をつなぐ相談業務を行い、それらのP



夢や挑戦を支えるため、創業支援策の強化を

問 2年前、町長2期目の公約として多世代交流施設の建設を第一に挙げたが、現在までの状況は。

町長 老若男女、誰もが気軽に立ち寄る場所として考えているが、用地や財源そして既存施設の機能の活用方法などの課題を整理する必要があります。また、既存公共施設長寿命化の基本方針もあり、慎重に判断していきたいと考えている。

問 公約実現には、強いリーダーシップのもとに課題を整理し前に進めていく必要があるが、町長の思いは当時と変わらないか。

町長 多額な費用もかかるため皆が納得

町長 多額な費用もかかるため皆が納得

町長 多額な費用もかかるため皆が納得

問 2年経つのにまだこの段階なのかという思いである。検討の進みが遅いように思えるが。

町長 多額な費用もかかるため皆が納得



検討が進む多世代交流施設
(イメージ)

問 ターゲットごとの効果的なPR活動は。
町長 ファミリー層の受け入れのためのPR活動、町民・近隣市町へのPR活動、教育旅行の誘致、インバウンド層受入れのためのPR活動を行っている。
問 農業生産者・飲食店等の事業支援は。
町長 農業体験事業等の観光事業を、農業者の営農活動におけるメリットに結び付けていくため、新規就農者や既存の農業者との継続的な情報交換や飲食店等事業者とのマッチングの場を通じて農業関係者との連携を図っていく。

問 二次交通の充実化は。
町長 上大井駅の利活用に向けた検討のなかで、二次交通としてレンタルサイクルやイーバイクの導入についても検討し、本町の里山や町内飲食店等への回遊性の向上につなげていきたい。
【人権施策について】
問 町の人権施策に対する考えは。
町長 本町では第6次総合計画における戦略事業のひとつである「平等な社会の形成」の施策において、町民一人ひとりの人権が尊重される差別を許さな



里山花まつりのライトアップ

問 近年の気候変動を考慮すると、小中学校の体育館にエアコンを設置すべきと考えるが。
町長 まずはスポットクーラーを有効活用し熱中症対策を図り、財政状況を考慮しながら計画的な断熱性確保の工事を進めた空調設置工事を検討していく。
問 建物の老朽化が進む「ほほえみハウス」の今後の方針は。
町長 ボランティア団体の「リサイクルほほえみ」が使用し活動が行われている。活動による収益は全て社協や障がい者施設などに寄附され、社会福祉の向上に大変ご尽力頂いて

いる。当団体や社協の意向を伺い、今後の方針を検討していく。
問 観光拠点でもある農村公園と郷土資料館のトイレを洋式化すべきだが。
課長 迅速に進めていく。
問 相和幼稚園閉園後の利活用の検討状況は。
町長 多方の意見を集約し、教育委員会としての一定の方向性をまとめ、実現の可能性を含めた調整をしている。
【東京2025デフリンピックについて】
問 今年11月に東京2025デフリンピックが開催される。共生社



湘光中学校の体育館
 (災害時には避難所に)



くろいわ じんたろう 議員
 黒岩 陣太郎

Q 観光振興基本計画の進捗状況は

A 目標達成に向けた素地づくりに力を入れていく



しみず あき 議員
 清水 亜樹

Q 小・中学校の体育館にエアコン設置を

A 財政状況を考慮しながら、計画的に設置工事を検討していく



まい 舞 議員
おおいし 大石

プラスチック資源
循環促進法に基づく、
現状の対応は

A 足柄上地区ごみ処理広域化
協議会において検討中である

問 プラスチック資源循環促進法に基づく、今後の対応は。

町長 新可燃ごみ施設建設にあたり、国の交付金の交付要件として

プラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化が含まれている。令和12年までの開始が必要である。

問 プラスチックごみ量削減のための今後の取組みは。

課長 環境展だけでなく、イベント等でプラスチックをなるべく使わない取組みができる

か庁内で検討したい。

問 事業系ごみの減量や資源化への対応は。

町長 事業者に向けた

情報発信も、積極的に行っていく。

問 戸別収集など、今後のごみ減量化対策の見通しは。

町長 戸別収集の導入は、現時点では考えていない。3Rに対する意識掲揚や分別の徹底、新たな分別の検討など行っていく。食品ロス削減のため、各種団体と協働した取組みを推進していきたい。

問 使用済み紙おむつ再生利用事業導入検討調査の進捗状況は。

町長 高齢者福祉施設などにアンケートを行い、排出量を推計した。近隣の事業者等にもアンケートを行い、数社



新可燃ごみ施設の建設予定地
(南足柄市内山)

から参入可能と回答を得た。建設候補地も調査を進めている。

問 新可燃ごみ処理施設の処理方法が焼却のみである理由は。

町長 バイオガス化等は敷地面積の関係もあり、導入実績等を勘案して焼却方式とした。



わだ 和田 議員
のりあき 紀昭

下水道管路の緊急点検の結果は

A 異常は確認されなかった

問 本町の下水道普及率と老朽化の現状は。

町長 昭和50年に事業着手、令和5年度末の下水道人口普及率は91・7%。最初に埋設した管路は49年が経過し、今後老朽化した施設への対応が課題。

問 管路の点検結果と修繕対応は。

町長 令和4年度から目視・カメラ調査を実施。緊急を要する異常は確認されていないが、一部で侵入水・ひび割れを確認。優先度を考慮しながら、内面補修工法などで修繕・改築を実施する。



大井町マンホールカード

問 八潮市の事故を受けた緊急点検の結果は。

町長 町内の重要箇所や御殿場線の軌道横断部、腐食が発生しやすい4カ所の管路を職員が緊急点検。異常は確認されなかった。

問 耐震化計画の対象範囲とスケジュールは。

課長 令和7年度、令和11年度に防災拠点（庁舎や避難所）周辺の上下水道を耐震化予定。全体の耐震化完了は20年計画。

問 令和7年度のストックマネジメント計画改定のポイントは。

課長 劣化状況や更新時期を再評価し、点検・修繕・改築の基準をより具体的、効率的に見直し、効率的な予算配分と優先順位の明確化を進める。

問 今後の経営戦略の方向性は。

町長 令和7年度に経営戦略を改定予定。生活環境の向上と財政負担の最適化を両立することを目指す。

令和6年度 足柄上郡町村議会議長会 議員研修会報告



令和7年1月30日、足柄上郡町村議会議長会主催による研修会が中井町役場において開催された。講師は茨木県取手市役所総務部情報管理課長の岩崎弘宣氏が務められた。研修会のテーマは「ハラスメントのない議会に！～議会の役割と議員の責任～」であった。

まず、議会においては年齢や立場、政党などさまざまな立場の議員がいるため、ハラスメントが起きやすいことが指摘された。議論を尽くしたうえで、議会としてまとまっていることの大切さや、地方自治法に基づく議長の注意喚起の重要性、ハラスメント防止条例の制定が必要であることなどを学んだ。議会の役割について理解を深め、議員同士がお互いを尊重し議論を重ねていくことも、ハラスメント防止に有効である。発言前の十分な調査、性別や価値観の違いを尊重する姿勢等が重要だと述べられた。

まとめとして、定期的な研修の実施、議会基本条例の改正、ハラスメント防止規程の整備や、議会運営委員会におけるハラスメント対策の検討、議員間の定期的な意見交換の実施を検討することなどが提起された。

本町において、ハラスメント防止条例はまだ制定されていない。条例制定の必要性とともに、継続した学習が重要であると感じた。今回の研修で学んだことを、自分自身の議員活動や議会活動に活かせるよう、努力する所存である。【大石舞】

道水路維持工事（町道4号線）



急傾斜地崩壊危険箇所整備事業（篠窪）



現地視察を実施

2月26日（水）に新年度に予定されている工事箇所等の現地視察を実施し、担当者から説明を受けました。



都市計画道路金子開成和田河原線
整備状況（県事業）



道水路維持工事（町道8号線）

町のこの人あの人

町のイベントでも大活躍

シャボン玉パフォーマンス現る



根岸下地区
こじま 亮一 さん
りょういち

5年前、大井町に移住してこられた「シャボン玉オジサン」こと小島亮一さんをご紹介します。

▼大井町を選んだのはなぜ？

●不便過ぎずのんびりした場所に住みたかった。知人が住んでいることや都市部へのアクセスが良いことも決め手だった。

▼住んで良かったことは？

●利便性と郊外感のバランスの良さ。近くになくて手に入らないものでも、少し足を伸ばせば手に入る。通勤時間増も思いの外よい気

分転換になっている。

▼シャボン玉オジサンになったきっかけは？

●ネットで見かけた「シャボン玉オジサン」のワードを面白半分

で検索したところ一瞬で心奪われた。子どもの遊びに大人が本気になるバカらしさと素晴らしい感じが痛快だった。子どものためというより100%自分が楽しんでいるだけ。

▼今後挑戦したいことは？

●色々な場所でシャボン玉を浮かべてみたい。ライトアップしたナイトバブル、スモークをたいたり、シャボン玉の中にも入りたい。体

験してもらったり、道具の考案にも注力すればもっと活動の幅は広がるはず。

とにかく楽しそうにパフォーマンスする姿が印象的です。子育ては大変ですが、だからこそパパもママも自分の好きを満喫する時間が必要だと感じます。活動を通して出会いが生まれ「移住者」ではなく「地元の人」となりつつある小島さん。見かけたら「シャボン玉オジサン」と声をかけてみてください。



大きなシャボン玉に、大歓声！

議会だよりへの意見募集

大井町議会では、町政及び議会の情報の皆様にお伝えするため、「議会だより」を年4回発行しております。より分かりやすい広報紙とするため、町民の皆様の声を募集します。応募は、電子メール（gikai@town.oi.kanagawa.jp）、郵送、持参、FAXのいずれかでお願いします。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です 議会傍聴にお越しください！

第2回定例会開催
6月3日(火) 午前9時
問合せ先：議会事務局
☎85-5000 FAX 83-3936

編集後記

真新しい制服に身を包む学生、大きすぎるランドセルを背負う新1年生、初めての集団生活に不安げな表情の幼稚園児、新年度の始まりを感じさせるいくつもの微笑ましい場面と遭遇します。

私たち大井町議会も新たな取組みとして定例会の映像配信を始めます。情報提供のあり方は長らく大きな課題だったこともあり一歩前進です。しかしながら、これで十分ということではなく今後も町民のみなさんに有益な情報を余すことなく届けたいと思います。重田 有紀

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 鈴木 磯美
副委員長 大石 舞
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 重田 有紀
委員 笠井 裕太